

第406回市（入札日 2017年5月26日）

— オフシーズン。ポプラやクルミがやや高 —

出品量は702.0m³と、前年同期とはほぼ同水準ながら、前月の3分の1以下に縮小しました。官材は出品がありませんでした。オフシーズンのこの時期は、もともと出材自体が低調ですが、加えて、銘木市に出品しても高値があまり期待できないとして工場に直接出荷される素材の割合が高まることも、銘木市への出品量が少なくなる一因とみられます。

ただ、そのような中でも、ポプラやクルミの出品が多く、前月ほどではないにせよ、高値がついていたのが印象的でした。これらの樹種は、前月にも出品が多かったのですが、そこで高値がついたことも刺激になったようです。

次回（第407回、5月23日）は、700m³が目標とのこと。また、次回をもって9月市（第408回、9月15日）まで休みとなります。

○出品数量

官材・単 桧	- m ³	- 桧	- 本
官材・ロット	- m ³	- 桧	- 本
民材・単 桧	646.2m ³	970桧	2,021本
民材・ロット	55.8m ³	12桧	391本
計	702.0m ³	982桧	2,412本

（樹種別）

タモ113.7m³・355本、マカバ0.5m³・2本、セン23.1m³・68本、ナラ247.1m³・83本、ニレ15.7m³・37本、キハダ1.4m³・4本、クルミ46.1m³・17本、アサダ6.5m³・2本、ホホ4.9m³・19本、エンジュ4.8m³・41本、カツラ25.9m³・5本、ザツカバ7.4m³・29本、シュリ-m³・-本、イタヤ18.9m³・85本、サクラ5.5m³・22本、シナ40.9m³・149本、メジロカバ46.6m³・226本、ウォールナット12.3m³・1本、アオダモ12.2m³・51本、その他61.9m³・158本（L計695.4m³・2326本）、イチイ4.7m³・83本、アカエゾマツ-m³・-本、クロエゾマツ-m³・-本、カラマツ1.9m³・3本（N計6.6m³・86本）

○販売数量 662.5m³（元落ち率5.7%）

○販売金額 2,619万円（1m³あたり平均39,529円（前回41,143円））

○主要樹種の平均単価（1m³あたり、カッコ内は前回）

タモ	37,388円（42,504円）	キハダ	21,363円（42,291円）
マカバ	19,041円（43,497円）	カツラ	33,111円（49,442円）
セン	41,010円（36,712円）	ザツカバ	19,086円（20,958円）
ナラ	50,893円（51,465円）	メジロカバ	20,926円（39,505円）
ニレ	27,329円（17,313円）		

○高値（1m³あたり、外材のみの樹種・イチイ・エンジュは除く。）

- ①235,000円（ポプラ 4.0m、84cm、1本、2.822m³）
- ②170,900円（セン 5.0m、54cm、1本、1.458m³）
- ③169,000円（タモ 2.8m、66cm、1本、1.220m³）

2017年6月9日作成（嶋瀬）